

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	出羽商工会
実習期間	令和元年 8月 26日 ~ 令和元年 8月 30日
学生氏名	三浦 令惟
実習プログラム	<p>・1日目</p> <p>8:25～ 朝礼</p> <p>8:40～ オリエンテーション</p> <p>9:40～ 事務補助作業</p> <p>13:00～ [大山支部]同行</p> <p>14:00～ 福田屋 訪問</p> <p>15:00～ 菅原製麺 訪問</p> <p>15:30～ 配り物回り</p> <p>16:30～日誌作成</p> <p>・2日目</p> <p>8:20～ 朝礼</p> <p>9:10～ [櫛引支部] 同行</p> <p>10:00～ 安野旅館 訪問</p> <p>11:00～ 松本壽太さん 訪問</p> <p>11:30～ [羽黒支部] 同行</p> <p>13:15～ たかはし BarBer 訪問</p> <p>14:30～ 所長のお話</p> <p>15:20～ 石田屋 訪問</p> <p>16:10～ 日誌作成</p> <p>・3日目</p> <p>8:25～ 朝礼</p> <p>9:10～ [藤島支部] 同行</p> <p>9:45～ 東北イトップ 訪問</p> <p>11:20～ アベオイル自動車 訪問</p> <p>12:00～ [三川支部] 同行</p> <p>14:00～ 出羽サービス 訪問</p> <p>15:00～ 配り物回り</p>

	<p>15:20～ 大井餅や 訪問</p> <p>16:30～ 日誌作成</p> <p>・ 4 日目</p> <p>8:20～ 朝礼</p> <p>9:20～ (株)ウエノ 藤島工場へ</p> <p>10:10～ 企業説明</p> <p>10:50～ 工場見学</p> <p>11:15～ 課長のお話</p> <p>12:40～ 三川工場へ</p> <p>13:15～ 工場見学</p> <p>13:50～ 作業体験</p> <p>15:10～ 定例会議 同行</p> <p>16:30～ 日誌作成</p> <p>・ 5 日目</p> <p>8:25～ 朝礼</p> <p>9:00～ [温海支部] 同行</p> <p>9:45～ あつみ観光協会 訪問</p> <p>10:40～ 農家レストラン きらり 訪問</p> <p>11:40～ ぬくもり館 訪問</p> <p>13:30～ [大山支部] 同行</p> <p>14:10～ 大山自治会 訪問</p> <p>15:30～ 日誌作成</p>
<p>学び・気づき (300 字程度)</p>	<p>実習は経営相談への同行が主な内容で、経営者の方々のお話を聞いたり7つの地域のさまざまな職種を少しずつだが知ることができた。</p> <p>実習2日目の午前に、櫛引でガソリンスタンドを営む松本商店さんを指導員の佐藤さんに同行し、訪問した。社長の松本さんは出羽商工会の副会長でもあり、その中で創業についてのお話をした。私は訪問を通して人手不足や来客数減少の現状を知ったばかりだったため創業をする人はなかなかいないのではないかと思ひ質問を試みた。松本さんによると、そのような時代の流れの中で自分のやりたい事と相談しながら出羽商工会の創業支援を受ける方はいらっしゃるそうだが、創業しようとやる気があっても時代の変化に反して法律がなかなか変わっていないことにより、法律が足を引っ張っているケースがよくあると教えていただいた。経営相談によって直接お話を聞いているからこそ知ることができる現状であるし、経営課題以前に経営者の方々なかなか変わらない法律によって肩身の狭い環境で経営をしていることの解決が必要だと思った。</p>

	<p>また、実習最終日の午後には大山自治会さんのところで次長の伊藤さんのご厚意によってお話をお聞きする機会を設けていただいた。自治会という存在自体が珍しいもので、住民自らが運営をしていること、『地元のことは地元の人たちがやる』という意志が大山地区の高い結束力に繋がっているというお話を伺った。鶴岡市という大きな枠組みに捉われることなく、その中で大山という地域の個性を大事にしていこうという地域の誇りを感じた。人がどんどん中心部に流れている現状で、地元地域を廃れさせたくないという住民の方々熱い思いだけでなく自治会の運営を続けること、まさに行動力が大切だと痛感したとともに、それが大山という個性ある地域を作っていることを学んだ。</p> <p>さまざまな訪問先へ同行させていただき、同じ職種でも経営者によって状況も価値観も考え方も全然違うことがわかった。これを知ることができたことだけでも十分貴重な経験だったが、私が一番印象に残っているのは指導員の方々のコミュニケーション力と情報力だ。経営相談する側として相手側の仕事の最低限の知識を持つことも大変であるし、経営者の方が相談しやすいようそれぞれの人の雰囲気に合わせてコミュニケーションの取り方を工夫しているのがわかった。ほんの数回では真似できない、非常にたくさんの経験と積み重ねというものを感じました。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>5日間のインターンシップを通して数えきれないほどの貴重な体験をさせていただき、特に社会人としての柔軟なコミュニケーション力を学んだ。また、今後何を考え過ぎていけば良いのかなど、自己分析にも励むことができたのではないかと思う。</p> <p>初日に、オリエンテーションという形で事務局長ご自身のお話も交えながら一対一でお話をした。その中で『たくさんの本を読み、たくさんの人と出会い、たくさんを経験を積み、向上心を大事にする』ことでそれが自分の財産(力)になっていくこと、『一つの出会いが人生を変えることもある』とおっしゃっていたことに感銘を受け、今後の指針の一つにしたいと思った。</p> <p>また、実習はさまざまな地域の経営者の方への訪問に同行させていただく形だった。その中で何か質問がないかと聞かれた時になかなか質問をすることができずに指導者の方にフォローをしてもらってしまったことがあり、経営者の方にも申し訳ないことをしてしまったと思っている。話を聞いていてメモも取っているのに、興味を抱けなかった訳ではないが、そのようなところが自分と向き合って考えられない私の悪いところだと感じた。</p> <p>今後は、今回のインターンシップで見つかった指針や課題を改めて振り返り、生活の中で少しずつ変えていければと考えている。</p>

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	出羽商工会の仕事への取り組み方についてで、本所である大山支所を含め7つの支所があるが、それぞれ担当の支所に直接出勤するのではなく、一度本所に全員が集まり情報共有をし、必要な時に各支所へ向かうという形を取ることで仕事の効率化と組織力のアップを図っているため、全員の仲が非常に良く、働きやすい魅力ある環境だと思った。
写真 (1~3点)	